

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>【基礎学力】 漢字や文法など、基礎的な学力が定着していない生徒が多い。</p> <p>【文章読解力】 文章を読み取る力の定着が、全体的に必要なである。</p>	<p>【基礎学力の定着】 毎週、漢字テストと文法の復習を行う。</p> <p>【文章読解力の向上】 説明的文章は構造的に読むよう取りませせる。文学的文章は、必要に応じて資料集やプリント教材を用い、興味を持ちながら取り組めるよう工夫する。</p>	
社会	<p>【興味関心】 ○学習意欲が高く、定期考査の平均点が70点以上である。ノート内容も丁寧で、まとめ方も工夫がみられた。発言やICT機器の活用から社会が好きな生徒が増えている。</p> <p>【知識理解】 ○地理ではグラフの読み取り・県の産業の特色の把握が高く、歴史では説明文の読解力や歴史の基礎知識の定着があるが、生徒が自ら考えられる力や基礎知識を土台とした論理的な考え方の力が課題である。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 主体的に取り組む態度 ○ICTを活用したわかる授業を目指すと同時に、生徒たちから知っていることやできることをどのように使うかという思考力・判断力・表現力を高めることを目指していく。特に、公民的分野は、それらを主体的に取り組めるようにする。</p> <p>【資料活用の技能】 ○資料一つ一つの読み取りから、複数の資料全体を活用し、考えを構築していくことを行う。また、相手の考えを尊重しながらも、自分の考えももち、協力しながら問題解決していく力を養っていく。</p>	
数学	<p>【基礎計算力】 ○毎回の授業や定期考査の解答状況から分析すると、生徒の大半は基礎計算力が身に付いている。しかし、細かいケアレスミスも見られるため、基礎計算力の確実な定着を更に図る必要がある。</p> <p>【数学的な見方や考え方】 ○授業で発展的な問題につまずきがみられる生徒が多い現状がある。応用問題を解くための発展的な力を高める指導が必要である。</p>	<p>【基礎計算力の向上】 ○毎時間、授業の導入で基礎計算練習を行う。 ○問題演習において、途中式を確実に書く指導を行う。 ○既習事項についても途中式などの丁寧な板書を行う。</p> <p>【数学的な見方や考え方の向上】 ○演習時間を十分に確保することや、ワークシートを利用することで、様々な問題に取り組みませ、多様な考え方を身に付けさせる。</p>	
理科	<p>【理解】 ○事物・現象についての原理・法則を理解し知識として応用的に活用できる生徒が少ない。</p> <p>【基礎的事項】 ○知識の継続性、定着を課題とする生徒が多い。</p> <p>【文章表現力】 ○観察・実験の結果を整理して自らの考え</p>	<p>【理解】 ○視聴覚教材を活用し知識として定着させる。</p> <p>【基礎的事項】 ○授業の始まりに前時の復習問題を行い知識の定着度を図る。</p> <p>【文章表現力】 ○授業の終わりに、まとめとして記述式の問題</p>	

	<p>として表現できる力を必要とする生徒が多い。</p> <p>【科学的思考】</p> <p>○事象や結果を分析して解釈し、まとめていく応用的な能力を持つ生徒が少ない。</p>	<p>を行わせる。</p> <p>【科学的思考力】</p> <p>○今まで得た知識を駆使し、思考させる課題や応用的な問題を提示して、意欲を持たせる。</p>	
音楽	<p>【興味・関心】</p> <p>○生徒の興味・関心を高める工夫が必要である。</p> <p>【創意工夫】</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を身に付けさせる必要がある。</p> <p>【達成感】</p> <p>○学校行事との関連を図りながら達成感・充実感をもたせる。</p>	<p>【主体的な活動】</p> <p>○多様な音楽の豊かさや美しさを感じ取り、音楽的視野を広げる。</p> <p>○音楽に対する理解を深めるために、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○自己評価を行い、授業への取組を把握する。</p>	
美術	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○意欲的な制作態度の持続を図る。</p> <p>○1、2年で習得したことを生かし、高い意欲を無駄にすることなく義務教育最後の美術の時間を有効に過ごさせる。</p> <p>【発想や構想力】</p> <p>○柔軟な発想力の向上を図る。</p> <p>【鑑賞力】</p> <p>○美術作品鑑賞への興味を高める。</p>	<p>【制作意欲の向上】</p> <p>○芸術活動は様々な分野と関係していることを知らせ、より広く深く学び興味を高めさせ、制作できる教材を作る。</p> <p>【発想、構想力の向上】</p> <p>○短時間イメージトレーニング課題を定期的に行い発想力を高める。</p> <p>【鑑賞力を高める】</p> <p>○鑑賞カードを使い、芸術作品をより多く見る機会を設ける。</p>	
保健体育	<p>【健康安全に留意した授業】</p> <p>○『授業規律』をしっかりと守り、落ちついて安全に授業に取り組む姿勢を身に付けさせることが必要である。</p> <p>【個に応じた指導】</p> <p>○運動の得意な生徒と苦手な生徒との能力差に対応する指導の工夫が必要である。</p> <p>【自主的課題解決】</p> <p>○自ら課題を設定し、自主的に課題解決に取り組む力を育む指導が必要である。</p>	<p>【健康安全な授業】</p> <p>○準備体操、補強運動を丁寧に行い、授業の説明や注意点を落ち着いた態度で聞かせ、理解させる。</p> <p>【段階的な指導の工夫】</p> <p>○授業のねらいを明確にし、見通しをもたせ、スモールステップで技能練習を繰り返し行う。また、ICT機器などを有効に活用する。</p> <p>【課題発見活動】</p> <p>○授業の振り返りを『個人記録カード』に記入させ、点検しアドバイスをする。また、ICT機器などを有効に活用する。</p>	

<p>技術 家庭</p>	<p>●技術分野</p> <p>【興味・関心】</p> <p>○各分野において、他教科との関連性をもたせ、生産・消費の視点や職業などのキャリア教育という観点から、関心意欲を高める必要がある。</p> <p>【工夫創造】</p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。目まぐるしい時代の変化に対応するため、その知識をもとに、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p>【技能】</p> <p>○ものづくりに必要な技能の習得を製作実習を通して学ぶ必要がある。特に、製図に関しては、空間認知能力を養う必要がある。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>授業における聞く姿勢は大変良いが、発問に対する挙手・発言が少ない。よって、生徒の関心・意欲を高め、授業に積極的な姿勢で臨めるような工夫が必要である。</p>	<p>●技術分野</p> <p>【目標の把握】</p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示し、授業のねらい・目標を理解させる。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○生徒の技術的な興味・関心を理解した上で教材を精選する。</p> <p>○製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせられる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p>【学習の定着】</p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【発問の工夫及び心理的安全性の確保】</p> <p>意見交換がしやすい生徒同士での話し合いを行ってからグループに対し発問することで、回答しやすくする。また、生徒の自由な回答を受け止め、心理的安全性を確保して授業への主体性を高める。</p>	
<p>外国語</p>	<p>【知識や理解】</p> <p>基礎基本の定着を図るため既習事項の繰り返しの学習が必要である。</p> <p>【表現】</p> <p>スピーチや英作文等の自己表現活動に意欲的に取り組んでおり、話す・書く力が高まっている。</p> <p>【授業の実態】</p> <p>ペアワーク・グループワークにおおむね意欲的に取り組んでいるが、意欲・理解力に差があり、個に応じた配慮が必要である。</p>	<p>【語彙指導】</p> <p>パワーポイントを使用して、語彙を広げたり、深めたりする活動を継続し、基礎の定着と応用力を身に付けさせる。</p> <p>【表現活動】</p> <p>スピーチ等の言語活動で、即興で発話する機会を増やし、達成感や自信につなげる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生徒が進んで取り組みたいと思う課題設定を行い、意欲向上を目指した授業展開をする。</p>	